

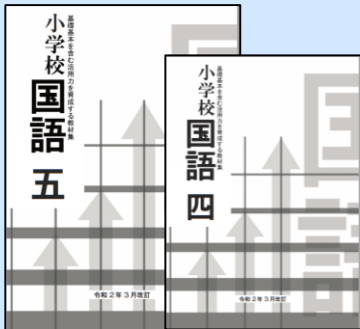
基礎基本を含む活用力を育成する教材集～未来への挑戦～の活用

思考力・判断力・表現力等の評価方法は適切ですか？

本教材は小問と大問の2つで構成しています。

小問 基礎基本の定着を図る教材

大問 主に基礎的・基本的な知識・技能を活用する力を育成する教材



活用例

第4学年 学期末の学習評価として活用

大問の活用 思考力・判断力・表現力等の評価として

司会、書記の役割を理解するとともに、複数の意見の相違点を簡潔にまとめることができるかどうかをみる。(第3学年及び第4学年 話すこと・聞くこと エ・オ)

第四学年「めあて」自分の役わりを考えて話し合おう。

□ 中川さんの学校では、代表委員会や「世界のこま」について、わたしたちができること」といふことを話し合いました。次は、中川さん、川上さん、石田さん、坂本さん、古着や文房具の集め方について話し合いました。

話し合いの様子の一部

司会	世界のこまについて、わたしたちができることとして、物を集めて送るといふ意見が出ました。この意見について、川上さんにもう少しくわしく話してもらいましょう。
川上	ぼくは、毎日の生活で使う物を送るのがよいと思います。だから、古着を集めるのはどうでしょうか。
石田	古着だけでなく文房具も集めて送ったら、よいと思います。えん筆や消しゴム、ノートなどは、毎日の勉強で使う物だからです。
司会	他に意見はありませんか。
坂本	わたしは、使用済み切手を集めるのもよいと思います。
坂本	使用済み切手とは何ですか。
坂本	使用済み切手とは、消印がされた切手です。使用済み切手を集めている人たちにその切手を売ってお金が、こまになっている人々の病氣やけがを治すのに役立てられます。そういう理由で使用済み切手を集めるのです。①どこにあるか、川上さんと石田さんと坂本さんに聞きたいことがあります。古着や文房具、使用済み切手をどうやって集めるつもりですか。

(右下に続く)

問1 書記が、坂本さんの発言を黒板に書きました。「黒板にまとめた発言の一部」のAの中に入る言葉を、「Sから」という形で書きましょう。

問2 司会の中川さんは、出された発言に合わせて話し合いを進めています。あとの問いに答えましょう。

(1) 線①は、どのようなねらいで発言していますか。もつともいざわしいものを、AからEまでの中から一つえらんで、その記号を書きましょう。

A いくつかの意見を一つにまとめようとしている。
 B 発言の理由をさらに詳しく聞こうとしている。
 C 話題を変えて話し合いを深めようとしている。
 D ちがう意見を出して話し合いを広げようとしている。

□

(2) 線②について、集め方がいかにいいか、悪いかを、Aの中に入る言葉で、前後の言葉につながるようにつけて、それぞれ書きましょう。

古着や文房具は、I という集め方です。
 一方、使用済み切手は、II という集め方です。

古着や文房具は、
 ○ I・II それぞれ、十五字から二十五字で書け。
 ○ I・II それぞれに、「いつ」と「だれが」を必ず入れなさい。

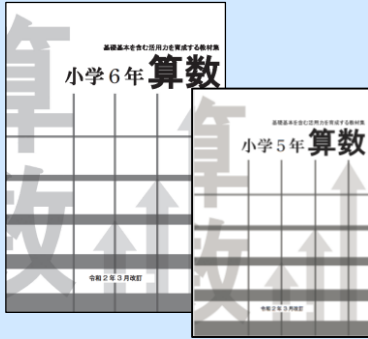
どう集め方です。
 一方、使用済み切手は、
 〇 I・II それぞれ、十五字から二十五字で書け。

大問は、[思考力・判断力・表現力等] 「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」の全ての内容を網羅しています。

基礎基本を含む活用力を育成する教材集は、小学校第4～6学年、中学校第1～3学年の国語、算数・数学の内容で構成しています。福岡県学力向上webシステム及び義務教育課各種資料のページからダウンロードできます。

基礎基本を含む活用力を育成する教材集～未来への挑戦～の活用

思考力・判断力・表現力等の評価方法は適切ですか？



本教材は小問と大問の2つで構成しています。

小問 基礎基本の定着を図る教材

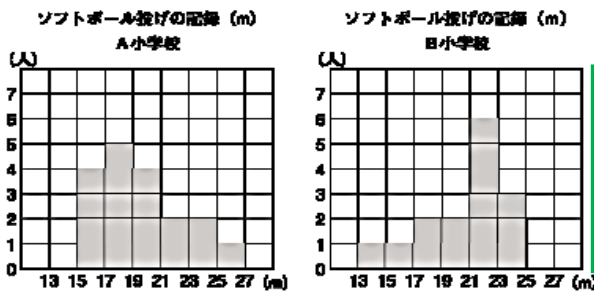
大問 主に基礎的・基本的な知識・技能を活用する力を育成する教材

活用例

第6学年 単元「資料の調べ方」の単元後の学習評価として活用

大問の活用 思考力・判断力・表現力等の評価として

それぞれの小学校の記録を、下のような柱状グラフに表しました。



示された柱状グラフから全体の人数や階級ごとの人数を読み取り、階級の人数の割合を求めることができるかどうかをみる。(思考力・判断力・表現力等)

(2) B小学校の13m以上19m未満の結果の人数は全体の何パーセントになりますか。その説明を式と言葉で書きましょう。なお、小数点以下は四捨五入しましょう。

(3) A小学校とB小学校で、ソフトボール投げの記録はどちらがよいといえますか。下の1か2を選んで番号で答えましょう。また、そのように考えたわけを2つの柱状グラフの特徴を比較して説明しましょう。

- 1 A小学校
- 2 B小学校

柱状グラフから最頻値や分布の傾向を捉え、A、Bのどちらの結果がよいかを根拠を明確にして説明することができるかどうかをみる。(思考力・判断力・表現力等)